

石岡市地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）及び再生可能エネルギービジョン（案）に対するパブリックコメントの実施結果

No.	意見内容（要約）	回答	計画への反映
1	<p>再生エネ（主に太陽光）の土地系の対象は市街地の79%を占める農地、耕作放棄地の利活用に左右される。しかし、土地所有者は任意に太陽光、開発事業者へ転売が可能で、これを規制する事は出来ない。更に、多くの事例は、都市の事業者が多く、ここで発電したエネルギーは、他地域に流れていく。</p> <p>そのため、太陽光エネルギー、食糧生産のスマートシティ、この2つの地産地消を意識した石岡の官民一体挙げてのプロジェクトチームを早急に立ち上げてはどうか。</p> <p>それにあたり、①PTの総合企画立案、②地主、事業者への地産地消のガイドラインを作成、③PTの緊急予算案の策定、④PT参加希望者の公募とボランティア募集、を行う。</p>	<p>再生可能エネルギービジョンの中には、着手開始年月を定めてないものも多くあります。こちらの実行計画については、市民の方への意識浸透と情報共有が第一の目的となりますことをご理解いただきたいと思います。そのうえで、ご提案いただいたエネルギーの地産地消のための地域内送電網の構築にむけた体制作りやプロジェクトチームの立ち上げなどは長期的な課題として、検討させていただきます。</p>	<p>計画に基づく具体的な施策や体制づくりについての意見であるため、計画案の変更は行いません。</p>
2	<p>①市民の行動変容、自分ごと化を伴うために「気候市民会議」を開催してほしい。</p> <p>②太陽光発電パネルの設置について、条例で地域住民への説明会を求めることになっていますが、説明書を配布するだけになっていることもあるようなので、説明会の義務付けを強化してほしい。また、災害時に、発電エネルギーを周辺地域で使えるよう義務化してほしい。</p> <p>③樹種によって、CO2の吸収量が違う表が出ていたが、それ以前のデータもせてほしい。</p>	<p>①本市におきましては、令和4年度に環境基本計画の改定、同時に気候変動適応計画書も策定しております。ご提案の「気候市民会議」につきましては、市、事業所、市民の方々と地域協働が達成できる具体的な取組みの一つとして、まずは啓発の強化から始めまして、段階的に実施についての検討をさせていただきます。</p> <p>②太陽光発電設備につきましては、災害時には発電エネルギーを周辺地域で使えるようにする強靱性強化について記載しておりますが、具体的な施策については、昨今の人口動態や地域性（水害や土砂崩れなどの可能性がある市有施設を避ける必要もある）、非常時に独立できる送電網の構築等を含めまして、直ちに義務化することは難しいとは思いますが、説明会の強化等も含めて継続的に検討させていただきます。</p> <p>③CO2吸収量のデータにつきましては、それ以前のデータがありませんので、申し訳ございませんが、載せることが出来なくなっております。</p>	<p>①は計画に基づく具体的な施策や体制づくりについての意見であるため、計画案の変更は行いません。</p> <p>②は計画に基づく具体的な施策や体制づくりについての意見であるため、計画案の変更は行いません。</p> <p>③はそもそものデータが無いために追加掲載することができません。</p>

<p>3</p>	<p>①再生可能エネルギーについて、石岡で発電された電気はどのくらい石岡市内で利用されているかを追記し、地域に役立つ事を示したらどうか。</p> <p>②大手電力会社に支払っている電気料金を削減し、再生可能エネルギーにシフトすることにより生まれる収入で、農地耕作放棄地、里山、森林の保護管理を行い、外部者への環境破壊を伴う土地の売り渡しを減少させる取り組みを追記してほしい。</p> <p>③木質バイオマスについて、ソロー茨城木質ペレット工場やつくばね森林組合の事業を支援・拡大してほしい。</p> <p>④集合住宅、老朽家屋、借家などで、太陽光パネルが設置できず、再生可能エネルギーを活用できない住民がたくさんおり、誰もが地域で作られる再生可能エネルギーを利用できる仕組みを考える必要がある。</p> <p>⑤再生可能エネルギー推進室を設置してはどうか。</p> <p>⑥石岡エネルギー自給準備会（仮称）が地域住民の理解と参加を重視した、再生可能エネルギーによる「市民電力」の設立を目指して活動を行っています。そうした中で、行政の市民活動への理解や支援、及び協働・連携についてビジョンに追記してほしい。</p>	<p>①石岡市内で発電された電気がどのくらい市内で利用されているかを測定する事は大変難しい事です。まずは、市民の方に共通認識を持っていただく事が大きな目的となっているため、そのような内容に留まっている事をご理解いただきたいと思います。</p> <p>②豊かな自然を有する石岡市の地域性を保全しながら再エネの導入に踏み込んでまいります。具体的な取組みについては、計画策定後に検討させていただきます。</p> <p>③今回のビジョンでは、ソロー茨城と、つくばね森林組合を認識いただくことを目的に紹介しております。ペレットの拡大は記載しておりますが、具体的な導入場所まではこの計画段階では指定出来ないことはご理解いただきたいと思います。</p> <p>④個人所有の建物まで市が率先して記載する事ができない事をご理解いただきたいと思います。省エネルギーに自家発電を組み合わせるネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）について、物件所有者への啓発を図って参ります。</p> <p>⑤地域の皆様と環境保全や温室効果ガス削減に向けた地域協働は様々な形で推進してまいります。その中で、再生可能エネルギー推進室の設置については、検討させていただきます。</p> <p>⑥本計画を推進するために、市民・市民団体及び事業者等の協力が必要ですので、計画の表記を一部変更させていただきました。</p>	<p>①はそもそものデータが無いために追加掲載することができません。</p> <p>②は計画に基づく具体的な施策や体制づくりについての意見であるため、計画案の変更は行いません。</p> <p>③は計画に基づく具体的な施策や体制づくりについての意見であるため、計画案の変更は行いません。</p> <p>④は計画に基づく具体的な施策や体制づくりについての意見であるため、計画案の変更は行いません。</p> <p>⑤は計画に基づく具体的な施策や体制づくりについての意見であるため、計画案の変更は行いません。</p> <p>⑥第6章1(4)を「本計画を推進するために、市民・市民団体及び事業者等の協力が不可欠であるため、地球温暖化等に関する周知啓発を行うことにより、温暖化対策への意識の醸成を図り、共に環境に配慮した行動を実践していきます。」に修正しました。</p>
----------	--	--	---